

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-82)、
廃棄物管理施設(57)、MOX燃料加工施設(2-44))」

2. 日時：令和5年8月4日(金) 10時00分～11時55分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、小野安全審
査官、武田安全審査官、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月3日
の提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・構造設計等の説明のスケジュールについては、全体の進め方の中で、どの
時点までにどういった内容を示すのか、各項目が相互にどう関連付くのか
を明確にして示す。
- ・耐震関係については、原子力規制庁からヒアリングで受けたコメントに対
応できていないものがあるので、ステアリングチームが対応状況を管理す
るとともに、遅れている対応について今後の予定を説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

・ 令和5年8月3日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のタケダです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和4年12月、
0:00:11	申請があつて、再処理廃棄物管理、
0:00:14	令和5年の2月についてが3ポツ目に確保施設について、
0:00:19	後日提出資料、
0:00:20	もとに、技術確認を行うものになります。
0:00:24	規制庁側の出席者ですが、本庁側からコサク調査官。
0:00:29	タジリオノオオハシタケダヨコヤマ。
0:00:33	ウェブからハバサキ1の方が出席しております。
0:00:39	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、本日のヒアリングでの説明範囲、達成状況について説明をお願いいたします。
0:00:51	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:55	日本原燃側の出席者でございますけれども、Steeringチームより、ケツクノモトイシグロタカヤ
0:01:04	イシハラ。
0:01:05	六ヶ所側から、仁平木製及び再処理の事務局参加させていただいております。
0:01:13	本日も確認いただきます資料、先ほどご紹介ありました、昨日、
0:01:18	ご提示差し上げました今後の進め方について、ご確認いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。
0:01:28	それでは、元の方から説明の方お願い
0:01:32	はい。乳井の石原でございます。昨日8月3日付で出させていただきました資料、今後の進め方でございます。
0:01:41	前回、先週の進め方でもありました共通的にやるべきことというほとんど今個別でヒアリングを走らせていただいておりますので、そちらで個別に対応していくと。
0:01:53	共通的に議論をすることがあるのであれば、この場でやらせていただくということで、整理をさせていただいておりますので、1ポツのところは、ほとんど個別で走っているものが今どういうスケジュール感で進めているかということを示させていただいていると。
0:02:09	ということでございます。京都12MOXのパートのところですけども、本日資料を提出して8月9日日やということで、修正方針の共通12の資料3のところ、

0:02:21	形態を示させていただくということ資料 1 も含めてコメントリストの形で、その添付でつけるみたいなものも含めて構成をして出させていただこうと思ってます。
0:02:34	はい。
0:02:35	あと再処理の設計説明分類のところでございます。こちら最初の設計説明分類と言いながらも前回もお話しましたMOXの重大事故の方も、個別にやることはちゃんと整理をしてやっていくと。
0:02:48	ここであわせて整理を進めさせていただくと。
0:02:50	ということでこちらも
0:02:53	8 日の日にヒアリングを設定させていただいてございます 4 日本日非常です本来 3 日でしたけども、1 日ずれてしまいました。ここ
0:03:02	恐縮でございます。
0:03:03	はい。あとは、重大事故関係、これも本日、別添ということで全体どういうことを考えていて、このそれぞれのタスクに落とそうと思っているかと。
0:03:14	いうことを、どちらかという私の頭の中の思考回路を書かさせていただいたところもありますけども、それも含めた上で 1 ポツを進めながら、
0:03:25	あとは個別の添付書類 17 である添付書類は書き分けのところは 2 ポツの方でやらさせていただくということでそれぞれ、
0:03:33	スケジュールを設定させていただいてございます。
0:03:38	はい。②のナカノ外的竜巻は前回、やらせていただいたヒアリングでのやりとりを踏まえまして、これも個別費用で今後も継続してやっていきますけども、
0:03:49	10 日に前回やりとりをしたことも踏まえて、
0:03:54	設計方針の方の整理をしてですね、資料を出して 18 日に費用をやらさせていただくということで整理をしてございます。
0:04:04	溢水の方は特に、前提条件であるところの紐づけをただけで、前回と言ってることは特に変わりません。
0:04:13	はい。
0:04:14	はい。はい。2 ポツの耐震関係でございますけれども、両括弧 1 で補足説明資料に関する予定それから両括弧 2 で次回会合での説明資料案についての、
0:04:25	予定についてまとめてございます。両括弧 1 の補足説明資料の方ですけれども、私たちも 08 につきまして、この 7 月 31 日に資料をご提出して 8 月 7 日ヒラノ予定とはしておりますけれども、

0:04:40	先日 8 月 2 日のヒアリングで、ご指摘をいただきました現状不足している項目を、
0:04:47	説明項目やデータを抽出した内容というのを、耐震建物 08 に係る今後の反映事項という形のメモを今作成してございまして、これ本日アノゴトウ
0:04:59	これ 8 月 7 日ヒガシに併せてご確認いただくということを考えてございませ
0:05:04	それから補足説明資料に関しましては 7 月 31 日提出版でですね未対応の部分がございましてこれ費用を追って提出させていただくという計画をここに書いてございまして、
0:05:17	追加ボーリング調査計画の 7 月 27 日ヒアリング反映版の別紙 2-3 別紙 2-4 への反映これにつきましては、8 月 9 日にご提出、それから、地震は海洋法による検討児童影響についての検討計画も含めますけれども、
0:05:33	こちらの別紙 2-3 への反映版につきましても 8 月 20 日、それから流動化処理の方の Z 等の周辺の追加につきましても、これも 8 月 20 日提出。ここまでは
0:05:49	前回の進め方ヒライでも申し上げたことと変わってございません。
0:05:53	で、その他ですねポツで、すいません。片括弧 A と整理いたしました。今足りないものというのを、をメモしてございましてけれども、ここで抽出した項目につきましても、こちら追加していく必要があるかと。
0:06:09	いうふうには思いますんでこれをですね、反映する必要があるということと、それから 8 月 7 日にまたヒアリングいただきますのでその際に、足らずをコメントいただくことがあればその反映版と、
0:06:22	いったようなものも、一応今のところですね 8 月 21 日提出を仮置させていただいてございませ
0:06:30	両括弧 2、次回会合での説明資料案でございませけれども、こちらですね 8 月 4 日本日、骨子といいますか第 1 期議案をご提出と、
0:06:43	いうふうにご考えてございまして、こちらの 8 月 7 日のヒアリングでご確認いただくということをご考えてございませんで、このヒアリングでですねまた、ご指摘ですとかいただきましたらば今これも仮置として見直し版を 8 月 21 日提出。
0:06:59	というふうには置かせていただきます。お返しいただいておりますけれども、これはスケジュールまた
0:07:05	調整させていただこうとなるかなというふうには考えてございませ

0:07:09	こちらはですね今介護の説明資料なんですけども6月20日の前回審査会合資料案、すいません資料にですね、そう、前回以降の検討内容を追加すると。
0:07:23	いう形とそれから今後の対応方針といたしまして、今後地盤モデルを策定して施設設計用地震力を設定して設定地震力による設備設計を行って参りますという今後の検討の流れについても追記する形と、
0:07:38	それからスケジュールの見通しを今の段階で申し上げることを入れるとといったようなイメージの資料で、今作成しているところでございましてご確認いただきたいというふうに思っております。以上でございます。
0:07:52	規制庁の竹川です。それではここまでの説明で規制庁から確認等あればお願いします。
0:07:58	ちょっとコサクですけどまず
0:08:02	先日の耐震のヒアリングのときにもお話ししましたけど、
0:08:06	この資料のスケジュールとかの、
0:08:09	整合が、前にもお話ししたんですけど前回バージョンでも、
0:08:16	十分にその文章、後のスケジュール表であってなかったと、というようなことがあって、しっかりとヒアリングでチェックしてください。
0:08:26	ということをお話してましたけど、
0:08:30	今回はちゃんと見られたっていいんですよ。
0:08:33	私確認しましたけど、もうれておりましたでしょうか。すいません。言わずごく詰まってしまったっていう、
0:08:46	江藤市長コサクですけど、
0:08:52	いますね。すいません。
0:08:57	衛藤。
0:08:59	ずれがあるから聞いているというよりは、ちゃんとやってくれと言ったので、こういう
0:09:05	チェック体制見直しなりこういうふうにして取り組みましたとかっていうのを、まずは聞いたかったんですけど。
0:09:11	現状もですね残念ながら、
0:09:15	多少、多少というかですね。
0:09:17	記載ぶりが悪いってことをチェックしてたらこれ直るんじゃないのって思うことが多々あるというところです。まず前回も指摘したところでの耐震関係で言えば、
0:09:29	文章では、
0:09:32	近似の事でしたっけ、ヒライですか。

0:09:35	はい、釜谷ですね。はい。ヒアリングで別紙3というのではなくて、別紙2-3なりっていうところできっかりとその内容ごと、
0:09:45	溶け込ませて、体系を整理をして説明するというので、文章側では別紙3というのが抜けてるんですけど、
0:09:55	スケジュールのほうを見ると別紙3が残ってるんですよ。
0:10:00	ていうところでそこがあります。
0:10:05	ということ。はい。
0:10:06	MOXの方もですね。はい。石井。
0:10:12	すいません、MOXの方ワー文章
0:10:18	文章の方もこれは悪いかと思うんですけど、
0:10:20	1ポツ括弧一位、
0:10:24	修正方針というの藤部隊に入っていくっていう二段階あります。
0:10:30	ですが、
0:10:32	4日提出9日冷やは方針だけ具体は18体っていうふうになってんですけど、
0:10:39	実態上は、今日提出の中に内容も入っていて、
0:10:44	スケジュールで見るとですね9日ヒアリングのところは、
0:10:49	修正の対応方針と共通中にMOXMOXだけだと僕全部かよみたいになっちゃうってところがちょっといまちなのと、ただこれ二つ。
0:11:00	方針だけじゃなくて、内容も話をさせて欲しいっていう趣旨は伝わるぐらいになって、
0:11:07	ですね、一方でこれの資料提出はっていうと、4日なんですけど、4日の書きぶりとヒアリングがあってなくてですね。
0:11:14	ええ。
0:11:16	か、主共通中に核修正等の対応方針共通中に括弧MOXって書いてあれば整合とれたんですけど、なぜかそうは書いてなくて、括弧閉じ括弧。
0:11:26	で、
0:11:29	いうので、これはどんな資料を出したいんですかってわからない限り、
0:11:34	ということで、
0:11:36	何か全部、
0:11:38	なんてやっつけ仕事の、趣旨が伝わらない。
0:11:43	ていう記載が散見されてる気がするんです。
0:11:47	前よりは良くなっちゃうんですけど、

0:11:51	もう1市頑張っていたら等コミュニケーションがとりやすくなるかなあと。
0:11:56	いうところなので、
0:12:00	もう少しですね、す、少なくともスケーリングチームの人が見てるっていうことはわかった。
0:12:04	気がするんですけど、Steeringチームの見方も、もう少し精度を上げて、
0:12:11	一つ一つ丁寧に
0:12:13	いうことを対応いただきたいなという。
0:12:16	が、実態上いかが。
0:12:20	はい。日本原燃野本でございます。もうあれこれ言うよりもすいませんちょっと言い方でしたら申し訳ありません。ちゃんともう少し精緻に見てきてます。
0:12:31	はい。入院中でございます。はい。全般的におっしゃっていただいている通り、どちらかを直して、全体見て、ここここは整合しなきゃなっていうところの見方がやっぱり抜けてるところがあると思うので、
0:12:45	今一度チェックの仕方、見方ですね特に不安というところを整理をして、はい。いきたいと思います。はい。
0:12:51	はい。コサクです。何分ですね、1ポツ(2)いいのは、よりそうなんですけど、幾つか関係している事項があって、それぞれ整合してやっていかなきゃいけない。
0:13:03	ていうことが多いので、
0:13:05	これは本文と、スケジュール表っていうのもそうですし、
0:13:10	そういう関連性のあるところが整合とれてるかっていうのは、着眼点としてはしっかりして、
0:13:17	いただきたいと。
0:13:20	で、これ、一応数我々に出す前にはシェアリングチームでしっかりっていうことなので、Steeringチームとしてっていうふうに申しあげましたけど、
0:13:30	実態でいうと実務は、そのそれぞれの担当者が作業してるはずで、
0:13:36	その人が作業するときにもうそもそもそういうのを考えてなきゃおかしい。
0:13:41	ですよ。
0:13:42	なので、そういったところの業務の仕方も含めてSteeringチームでやるように指示をし、チェックをし、

0:13:50	ということSteeringチームの最終チェックのところまでちゃんとできてないものが上がってくるってということ自体もありえない、本当はありえないので、
0:13:59	そういう指示も含め、しっかりとやっていただきたい。
0:14:07	はい、乳井ニイツ様でございますはい。本当やり方体制も含めて
0:14:12	していきます。はい。
0:14:14	はい。
0:14:15	です。
0:14:21	順番に、やっぱり1ポツ(1)ですけど、今のところって話で4日9日って言ったところは文章ではちょっと書き切れてないけどねっていうので、認識は、はい。
0:14:38	共有できてると思うんですけど。
0:14:44	ここの時2説明グループ1ってなっちゃってるんですけど。
0:14:49	これはマエダと、この中にステップ1ステップ2とかって帰ってやってましたけども一体でやりますよっていうことでよかったんですよ。
0:14:58	はい。日本原燃石原でございます。はい。それはちょっと書き切れてなくて恐縮です修正方針というのは共通中に本体も含めて、今回も、資料を出して、全体のどこまで書くかっていうこと。
0:15:12	どういう紐づけ個別になってるかってところも整理をしていきますので、すでにステップ1ステップいいっていう枠を超えてしまってるかなというところもあるので今一体でやろうということで考えてました。はい。
0:15:25	はい、古作です。
0:15:27	なんですけど、文章の中にはステップ2として、第2ステップとしてとかっていうところはまた、何の意味がわからずに書いてあったり、
0:15:36	その次のポツも第2ステップとあわせてってなっていて、上で第2ステップとしてとって、
0:15:45	9日やなのか、資料提出18日のことなのかよくわかんないんですけど、
0:15:51	って言いながら、
0:15:53	次のポツステップ、第2ステップと合わせてとっておきながらこれのスケジュールが書いてない。
0:16:00	ことで、とてつもなくちぐはぐなので、今日の資料でGの中で、文言とかも整理をされてくると思うので、

0:16:10	あれですね、共通 12 の本文とかも書いてあるんですよね。とすれば文言も合わせていけるでしょうからそういったところは誤解のないように書いていただきたいと思います。
0:16:21	そうすると、内容は今日のヒアリング、今日の提示資料で見て、
0:16:29	検討していけばいいかなと思うんですが、第、二つ目のポチの 2-2 っていうのは、合わせてと言ってるんですけど、出てきてないのはどういうことですか。はい。二本木西原でございます正直
0:16:41	手がうまく回ってないのが実態でございます 2-2 をすでに 1、今回の 2-1 の説明の中でも 2-2 に入るような評価がどういうところに絡むかっていうのが整理をしているので、
0:16:54	それを具体的に展開していく、シートなんか作っていこうかなと思ってます。そういう枠組みにしますっていうのは当然ながら本部長も宣言をしてやっては行くんですけど、
0:17:04	具体的にどういう形で示していくのかっていうところまでまだ整理ができてないので、これを、
0:17:10	おっしゃっていただいてスケジュール感をちゃんと出してですね、いつこれを示すとか、
0:17:15	少なくとも、2-1 の説明が、
0:17:20	終わった頃にやりますでは話にならないのでその前にやるっていうのは、宣言をしたいと思えますスケジュール感を示したいと。
0:17:28	規制庁コサクです。少なくともシリア共通 12 の中に、2-1 だけじゃなくて 2-2 も共通 12 としてやっていくということはここで宣言をされているので、
0:17:40	その中で見ていこうと思うんですけど。
0:17:43	これは今日提出資料での
0:17:47	修正方針という中には入ってきてるんですか。はい、日本のイシハラでございます。まず、実態を申し上げますと、2-2 を共通住民中でやりますという宣言は本文上させていただいてます。
0:18:00	2-2 としてどういうことを説明するかっていう改革は示せてはいるんですけど、中身まで踏み込み出ないので、そこはまた別途やる、やらなきゃいけないっていう正義なってます。
0:18:12	はい、規制庁コサクです。わかりました。それを、じゃあいつやるのんなり、どういう方向性なのっていうのを次の進め方冷やで話をさせていただけますか。はい。
0:18:24	日本原燃石田でございます。はい。承知いたしました。

0:18:33	で、補足です。何で来言ってるかっていうと、次の(2)に入るっていくとです ね再処理が、
0:18:41	来るわけですよ。
0:18:42	そうすると、複数の案件が並行して走っていくことになるので、
0:18:49	どっちをどういうふうに進めていくのが一番いいのかなっていうのを考える ためにも、少しビジョンを提示していただかないといけないかな。
0:18:58	思っているので、よろしくお願いいたします。
0:19:02	やっぱ、8月中旬に全体像が見えるっていうことが大事だと思うんです。
0:19:09	1ポツ括弧一位で、担当から、
0:19:14	確認は、
0:19:17	です。今お話出たところの通りだと思うんですけど、ほとんどの想定として 技術センター8月18日時点では2-2の話まではっていう意向とはまだ持てな かったっていう、それじゃ後ぐらいの製品のイメージですかね。はい。弓削 ニシダでございます。はい。書類って本当申し上げますと、
0:19:35	若干18よりはずれるかなと思ってましたがとはいえ、どういう方向でやる かっていうのは本部長も含めて、18の時点で、何らか示さないと先が見え ないので、
0:19:45	そこも含めて、来週に進め方費用等も含めて整理をさせていただきます。 はい。はい。技術、資料としてちと決めてるのがいつの前段階として、 示せることがどこの時点で何まであるのかっていうところの話もやってい けば、少なくとも
0:20:00	何か進んでるか進んでないかわからん状態にならないような気がする ので、その点を含めてですね、実績についていただければと思うのでよろ しくお願いします。自分からは以上です。
0:20:15	規制庁コサクです。
0:20:17	その下1ポツ(2)なんですけど、これもちょっと全体としての構成がまだ 悪いので、
0:20:25	置いてからっていうことなんですけど、
0:20:32	等そうだな。
0:20:34	まずですね。
0:20:36	この文章、
0:20:38	言うと、②の、
0:20:41	ローマ数字1と2って分けていきつつ、両方とも20時17を書いてある っていうことで、その意図がわからない。

0:20:49	ということがとても問題だなと。
0:20:51	でます。
0:20:56	好意的に解釈して別添1ってついてんだから別添1見ればここ二つ書いてある趣旨がわかるかなあということで、別添1を見に行ってくださいね、別添1と言いながら、
0:21:11	別添1と書いてあるのは、3ページにあるんですけど、3ページ、4ページ、5ページとなって、6、さらに6ページまであって、
0:21:21	それがどういう関係になっていて何を言いたいのか全然わからないんです。
0:21:27	ていうので、
0:21:29	幾ら進め方ヒラノ参考とはいえますね。
0:21:32	だなあ。
0:21:35	ないところがあって、
0:21:39	4点をまとめるので、ご要望にも書かなくていいから、ポイントっていうことで文章を書けば、もうちょっとわかるようになるのだから気がするんですけど。
0:21:53	どのページで話したらいいんですかね。
0:21:56	はい。
0:21:57	弓削イシハラでございますそうですね。0102さらに分けてますけど、タスクは全体としては
0:22:04	3ページの真ん中の項目ですかね、関係するところと、この、
0:22:12	設計基準の設定等世界重大事故委員会整理ってところが、多分、
0:22:18	先ほどのタスクですけど、全体連携しながらやっている数、個別に書いてること自体が多分わかりづらくなってる。意図が伝わらない理由な気がします。はい。
0:22:29	はい。
0:22:35	古作です。
0:22:36	それで言う等、
0:22:39	文章のこれと、
0:22:42	どれとどれが対応するんですかと言えばですよ。
0:22:47	①は、分類の設定と言っているので、
0:22:53	左から2番目です。
0:22:55	ということです。
0:22:59	②が右側、はい。

0:23:04	であって、
0:23:09	もう、
0:23:10	002 の括弧重大事故フジカワね。はい。
0:23:17	竜巻溢水とかここ二つあってるのがその右側に縦に並んでか。
0:23:24	いう状況になっているということではあるんですけど、
0:23:28	そうだとすると、括弧重大事故と言ってるところの 1 ポツと 2 ポツと分けているんですけど、
0:23:37	それはここで言うと、
0:23:40	整理等構成整理という訳になっていて、
0:23:46	構成整理の方で 17 と言ってるんですね、1、そうだとすれば、文章の方の 1 ポツに、何で 1017 を書いてあるんだっていう、はい。
0:23:59	ことになるんですけど、何か
0:24:02	はい、乳井でしょ。
0:24:04	はい。そうですね。構成として②-1 の結果を一つは使って十時 10 何ポツの方に預けるという意味で、
0:24:17	ホーム上十時 17 回てしまってますけども、実態は、2 ポツ側だけが 17 と思ってますが、そのインプットで、一番で、1 ポツが出てきているだけかと思います。はい。
0:24:30	規制庁。
0:24:32	わかりました。そういったところをですねよく頭の整理をして文章を書いていただきたい。
0:24:38	です。
0:24:39	で、
0:24:42	もう、
0:24:44	細くなってくるので、あとは個別担当から聞いていただきたいなと思うんですけど。
0:24:50	それ、
0:24:52	最低限確認しておきたいのは十時 17 って何物にするつもりっていうのが、
0:24:59	議論してから大分時間が経ち、その間にいろいろ議論もあるので、前のままっていう必要もない気がするんですね。
0:25:10	ここで書いてあるの、3 ページで書いてあるのは添付書類等の構成整理ということで、
0:25:16	待とうっていうのは補足とか分ですかね。そんなイメージで、

0:25:23	本文どうのこうのとか、
0:25:25	いうことは、
0:25:29	基本なく、
0:25:31	体系の整理だけで、内容はまた別途、
0:25:34	共通になりながら、
0:25:37	いう認識でいいですかね。はい。与儀ニシウラでございます。はい。おっしゃっていただいて、
0:25:43	はい。役割分担なり、どういうことを書くかという、エッセンスが決まれば、あと細かい文言は共通 10 ナカでもいいかなと思ってました。はい。
0:25:52	はい。補足です。わかりました。あとは、
0:25:57	3 ページの、
0:26:01	矢印関係で、前回お話したこと等、変えてないようなんですけど、ただスケジュールはずれていてですね。
0:26:09	今の十時 1731 日やからと思っているのに、
0:26:13	それから左上に上がっていくやつがもう終わっていると。
0:26:19	ということなんですけど、これあげる意味ないですよ。
0:26:21	はい。乳井ニシダでございます。はい。ないです。はい。おっしゃっていただき、
0:26:27	はい。そこは消した状態で、
0:26:31	左上の設計分類で必要なインプットっていうのは、その上の説明事項の整理というところを受ければ検討ができ、
0:26:43	展開されてあとは共通 12 の作り込みの中で、統合していくと。
0:26:49	いうことで対応いただければいいのかなという感じしました。
0:26:55	その先ですね。
0:26:56	共通中に一番下、
0:27:00	一番ですけど、はい。
0:27:01	うん。これ一行では淡々と進むわけがなく、少し整理をしないといけないっていうことで、その整理が説明グループの設定にはなるんですけど、
0:27:13	なるにしても、なんでこの進め方でいいのっていうことからすると、前から少し聞いてはいますけど竜巻が先頭バッテリーで、
0:27:23	いくということであるから、
0:27:26	先行して竜巻の、整理があって、
0:27:31	一方で溢水は少し遅れても、竜巻の後で追いつくよ。
0:27:37	追いつくというか次に使えるように準備しますよと。はい。

0:27:41	いう計画ですよね。はい、西田でございます。はい。おっしゃっていただける
0:27:45	はい。規制庁土佐です。それぐらいはですね。はい。
0:27:50	はい。書いて、現状の見通しと考えると、
0:27:54	だからこうですよ。す。
0:27:57	説明グループの設定ができれば、それを修正していきます。
0:28:01	ということがわかるようにしていただければと思いますし、先ほどの2-2での話っていうのも、関係してくるので、一番左のところが、
0:28:13	なぜか中に矢印入って終わっちゃってますけど、
0:28:16	2-2っていうところの関係もありますよねっていうので次のバージョンからはより具体。
0:28:22	見えるようにしていただければと思います。
0:28:26	はい。日本原燃石原でございます。はい。
0:28:30	まずは一つ一つ、
0:28:33	させていただきます。
0:28:35	おっしゃっていただいたように立間キーを先行してやるということで竜巻、特に対策設備側の設計の整理を、まず事前にやった上で共通中に入れたいと。
0:28:44	とはいえ変更事項を含めた設計説明文の設定をしたときに竜巻は当然、対策設備だけではなくて防護対象含めて全体の情報、
0:28:54	しないといけないので、それをジョイントして、どういうわけで竜巻を進めるかというのが共通ジンノエージレスに入っていくということだと思ってます。
0:29:03	あとは大枠もうすでに、何を説明しなきゃいけないか決まっているので、大体それを豆ハダつけながら共通に作っていながら、左の結果を踏まえて、微修正する。
0:29:14	というようなことが、全体の枠組みとしてわかるように整理をさせていただきます。はい。
0:29:20	はい。コサクですよろしく申し上げます。
0:29:24	とりあえずは、(2)①、②、
0:29:31	重大事故までぐらい、各担当から、
0:29:42	の方、
0:29:47	3 ページで、
0:29:50	4 ページの方が、
0:29:55	ちょっと

0:29:58	二名の方、
0:30:07	猪狩、
0:30:09	を踏まえた流出、
0:30:11	それから右の方に、
0:30:14	赤血球と合わせて、
0:30:16	むしろ、
0:30:17	矢印、白尾さんが、今回、
0:30:21	3 ページ。
0:30:24	調べるっていうのは、何を意図して、
0:30:28	これがですね、例えば二つ目の、
0:30:31	左側
0:30:34	破線の中の二つ目のことで、展開っていうふうな、これ、
0:30:40	はい、弓削西原でございます。今後、すいません丁寧に書いておきながら、丁寧さが欠けてました。
0:30:46	具体的にこの塩谷広井、塗りつぶしの青い枠の7 矢印ですけども、
0:30:52	ポツかわいくと地裁ポツの上から四つめ。
0:30:58	SAの中でDBとSA合わせて評価をしていくものっていうのがどんなものがあるのかということ、SAとして4 の要求事項を全部並べた上で、その仕分けを何らかしなきゃいけないものをピックアップして、
0:31:14	右のタスクに渡したいんだということで考えてたところでした。
0:31:20	はい。
0:31:22	の
0:31:26	3. アノハタカトウの二つ目は、二つ目と四つ目で、
0:31:32	展開。
0:31:33	その対応が展開というふうに書いてあって、四つめの4 ポツ目の方が、
0:31:42	はい。
0:31:43	はい。
0:31:44	はい。ていうのが二つ目の見解。
0:31:47	ファクトただ預けるというだけであんまり舞台のところは、矢印としてはあんま関係ないかなと。
0:31:55	ちょっとそこも、すいません次のページも作りながら全然位置付けもできてなくて恐縮でございます

0:32:02	やりたかったのは、特に5ページで言う、色を分けてますけど、赤い色のところは、最終的に共通12をどう作るかっていうところで、
0:32:14	8条なり、12条なり、あと36条なりそれぞれのところのCとD、どこまでをSAとして書いてどこから動員として、資料の中で展開していくのかという整理をどうしていこうかなというところの、
0:32:29	線引き特に赤い枠の赤字で書いてあるところの線引きを、右側のタスクでやりたかったということで、
0:32:38	あ、すみません規制庁コサクです。
0:32:41	前回進め方費出てきたね、少し話をしましたけど、まず四つ目のやつは、
0:32:52	こちらの左側のタスクで整理をして、ある程度
0:32:57	右側のタスクの前提条件は整理をしてやりますということだったので、それは理解しますが、
0:33:05	二つ目のポツその展開と言われてるものは、
0:33:13	今言われた5ページ、4ページから5ページ、5ページの赤字の云々ということでもないような気がしてですね。
0:33:30	基本的にわあ、右側のタスク説明すべきこと。
0:33:37	の関係が整理をされ、
0:33:40	それを踏まえて設計説明分類を整理をすると。
0:33:45	いったときに、プラス何か
0:33:50	順番を考えるとこういうふうにやりたいなど。
0:33:53	というようなこともあって、
0:33:58	整理をしていく中、
0:34:01	右側のタスクにフィードバックがタスクというか、資料にフィードバックをかけなきゃいけないみたいなことがあったときに、整合をとっていきますよっていう、はい。
0:34:13	ことかなあという気もしますけど。
0:34:19	意図はそういうことじゃないですかね。はい、石田でございます。はい。答えはイエスなんですけど、私の頭ん中もグルグル回ってるのは
0:34:29	多分やる時にですねと、作業としてはボックスでやったみたいに下の設計説明、説明グループの展開とあわせて説明をやらないと、多分整理できないなと思いつつながら、
0:34:41	タスク二つに見分けてもあんまり意味ないなっていう気もしていて、順番にやればするんですけど、

0:34:47	下のことも考えながら、分類考える、その本当に次の説明グループに橋渡して、合体して説明できますかねこれっていうのを、
0:34:57	やっていくっていうのも、イタレーションじゃないですけどやらないといかんかなとは思ってます。はい。
0:35:02	規制庁加来です。そうするとですね、これ、左側のタスクを明確にこれ二つ分けてますけど、
0:35:10	そんなに分かれるものじゃないっていうことですよ。はい。はい、井川でございます。はい。
0:35:19	今日出す予定の資料にもなってますけど、
0:35:23	同じ設計説明文の中にどんなものがまず入ってますか。これは家経路として同じようなものがグルーピングされてますよね。
0:35:32	じゃあこれ設計説明の項目を並べてそれぞれに丸をつけたときに、同じような丸がいっぱいありますよ。違う設計説明文で回ったときに、これはピンで説明するのか、いやもうこれは合わせ技で説明してもいけるだろうみたいなことを考えながら、
0:35:47	じゃあ分類として個別で立てた方がいいのか、いや説明グループを橋渡してあげれば、こんなの一気に鍵解決するじゃないかみたいな整理も含めて、それぞれ独立するかしないかを、
0:35:59	考えていけないといけないかなと思っていて、そういうことを考えていくと上と下は一つじゃないとできないなんていうところではあります。はい。
0:36:09	規制庁コサクです。そういう子。
0:36:13	この中で全体資料整合して整えていきますというのが二つ目のポツっていうことだとすると二つ目にあること自体がおかしいですよ。
0:36:29	ええ。
0:36:32	長コサクです。そうすると、一つ目のポツは大枠の方針のようなものなのでいいんですけど、
0:36:39	その次にはタスクを渡して戻してもらわなきゃいけないっていう意味だと四つめのポツが、
0:36:48	あると。
0:36:49	いうことで、
0:36:52	三つ目のポツ。
0:36:54	が、
0:36:56	何か、
0:36:58	ていうと、

0:37:02	三つ目ってそうですね。すいません三つ目が、与儀ポツ等四つめのポツがほぼ合わせ技になっていて、
0:37:11	三つ目のポツでSAとしての要求を全部並べて、これは衛星単独でやること、これはDBと合わせ技だよみたいな整理をしつつ、
0:37:20	評価後みたいなものもあるよねということで、三つ目と四つ目合わせ技で多分展開をして整理をしていくということだと思ってますはい。
0:37:29	はい。
0:37:31	そうですね。
0:37:35	そう。結局はその全体の中でどこまでを
0:37:41	右側のタスクで整理をしなきゃいけないかっていうのを整理をするということではないと思うので、
0:37:49	その趣旨で、
0:37:50	閉考えていければと思います。三つ目のポツはそのあとまた結局どうグルーピングするのっていうことで戻っておりまして、やらなきゃいけないので、
0:38:02	その意味では、まず、
0:38:05	半分は統合して四つ目のポツ、整理をしていただいて、戻ってきたところで、どうすんのっていうの二つ目のポツに合わせて、検討いただく。
0:38:16	というのがプロセス的にはわかりやすいかな。
0:38:21	いうふうに、
0:38:23	ます。
0:38:24	大橋さん、関戸さん、
0:38:27	三つ目のポツで、私の
0:38:30	考えがあって、
0:38:35	運用の整理は、調達、
0:38:40	はい。
0:38:45	今まで資料で、
0:38:47	期待して、
0:38:49	環境、
0:39:00	はい。
0:39:01	はい。日本原燃石原でございます。はい。
0:39:06	ここが、そうですね書きながらも全体、うまくどこどこが繋がってるかが整理できてないんですけど、三つ目のポツっていうのは四つ目のポツにも絡みますし、

0:39:16	最終的に一番最後のポツないですけどSAPで、説明しなきゃいけない項目があるのであれば、それは単独で起こすっていうことも含めて考えなきゃいけないっていう分類額にも効いてくるっていう。
0:39:29	全体のスキームかなと思ってました。はい。
0:39:37	ちょっと話しました。
0:39:39	三野病院スタッフっていう、この定義っていうのは、一応次回、
0:39:44	資料の後は 17。
0:39:49	戻ってくる。
0:39:57	さらに、
0:40:01	はい。ごめんなさい。ちょっとですけど、改良って何かっていうことなんですけど、
0:40:08	右側って言われてもう右側には未つつう箱があって、はい。
0:40:14	一番上のことを言っているということでもいいですね。
0:40:18	そうだとすると、
0:40:20	前の 3 ページ見れば、その箱は、
0:40:24	8 日冷やで終わりなんですよね。
0:40:27	それを、設計説明分類の設定等 2、
0:40:33	また戻してあげて、
0:40:35	進んでいく。
0:40:37	ということで、この後の調整についてはもう共通 12 でやりますよっていうのを最初に確認したところ、はい。はい。
0:40:46	なんですけど。
0:40:48	それを踏まえて何が確認したいのかもうちちょっと、
0:40:54	ちょっと
0:40:55	はい。
0:40:59	りゅうぎんの石田でございます。ちょっと我々の今までの説明もどこまでやりますかというのがぶれてたので、そこも多分、ムタみたいになってしまった議員だと思っているので
0:41:10	ルート上でやることはちゃんと京都市でやるということでその橋渡しがまずできれば、入口が整理できれば、それぞれのタスクとしてことは多分終わりだろうと。中に踏み込んでしまうと共通シートの差分がわかんなくなりますし、
0:41:23	中身をどこでやるんだっていう人もよくわかんなくなるので、まず中身の話はもう共通順位でやるんだと、取り切った上で、そこの共通Bで説明

	するために、入口として整理しなきゃいけないことをウエダで全部やるんだということで、はい。
0:41:39	支店長の加治です。ハダのかどうかって言うと5ページに入って、
0:41:43	関係ないんですけど、
0:41:46	外部商品化とかね。
0:41:49	なんていうところの安全関係みたいなけど、
0:41:53	対象機能要求として展開し、評価方法等のCDPと同様の手法を行うものはっていう形で書いてるんですけど。
0:42:01	放送が違うやつをASMEなんて書くやつもいるっていう。それとも、最初の部分イマイはもう全部DBのところを展開しますよっていう話です。
0:42:12	はい。日本原燃石田でございます。同じだよねっていう確認をまだ最終的に整理ができてないのでこういう書き方をしていますが、基本、36条側で、防護対象とかこういう要求だよねってところまでは整理して後は地上に渡すっていうのは、
0:42:29	2本かなと思ってます。はい。
0:42:31	スギタオオタニです。
0:42:32	なんですけど、この間の資料も変わるのかもしれないんですけど例えば溢水の方だと、対策に関しては井清だけの話のやつもいるんですよみたいな話が出てきていたり、
0:42:42	挙げた項目の中で、例えば館アオキの話だと、僕っていう中に入るからもうD展開っていうか峰かもしれないんですけど一応細かな話とかがって実際終えているところっていう話になる。
0:42:53	ああいうのも、DBの方で前回っていうか、はい。ごめんなさい。規制庁コサクです。ちょっと表現を改めた方がいいなと思うのは、Dの方でっていうとおかしくて、
0:43:04	竜巻としてとか、事象としてその対応しますよっていうふうに言った方が、認識としてぶれがないんじゃないかなと思います。はい。弓削ニシダでございます。はい。私ども整理したいのもDBカワセと書いてますけど、
0:43:20	36条でどこまでやります、八条でどこまで整理しますっていう、お互いの橋渡しかなと思ってますアノコサクですごめんなさい。それもちょっと、
0:43:30	結局語弊があって、八条っていうとDになっちゃった座間千田っていう言い方じゃないですかね。はい。
0:43:40	坂井ですその前に乗っかりました。ちゃんとここに合わせて付けて、
0:43:46	はい。

0:43:48	甲斐副次長である刀禰医長であるとか、この事象に対する対策っていうのにとらえると、DBとしての条件設定として、条件設定あるけれど、その条件設定だとか、防護対象共用というところのスタッフ、パートナー統一的にできる話だから、
0:44:03	まとめてやりますっていうのが、統一的な話でした。はい。はい、柳下でございます。ありがとうございます。
0:44:09	ということです。はい。
0:44:11	はい、わかりました
0:44:14	規制庁コサクです。で、そういったところが
0:44:18	4 ページ 5 ページ非常に言葉が、
0:44:21	悪いというところちょっと語弊があるかもしれませんが、わかりにくいとかいう、
0:44:26	しやすいついていう感じになってるんで、
0:44:29	整理を進めていただきたい。
0:44:31	ですね、今、田尻が言ったところも、評価手法と同等でなくても、グループとしては一緒にして、一体として説明した方がいいことって多分にあると思うんですよ。
0:44:45	書いていただいている通り機能要求はさすがに
0:44:49	外部衝撃なりの
0:44:53	ハザード側に寄せちゃうと、機能として一体として説明できない。
0:44:58	システム設計なんて説明しようがないと。
0:45:01	ということになるので、それは別途説明させてくれというのはよくわかる。
0:45:06	ですけど、何を説明するのかっていうところをしっかりとらまえて整理をしていただきたいと。
0:45:14	いうところだと思います。それがわかるようにまとめてもらえればと思いますけど今日の 5 ページは、結局
0:45:23	8 日のヒアリング
0:45:27	の資料に、
0:45:30	置き換わっていて、今後これはもう出てこないと思いますんで、ここの文言、
0:45:35	読めないんで、
0:45:38	8 日のヒアリングはあれですか、7 日資料提示ですかね。
0:45:44	はい。人間でした。
0:45:45	なのか、あとは

0:45:48	この部分の整理はさっきの話でいくと4ページでいうと左側のタスクでもある、4日、今日の資料にも当然入っております。
0:46:01	著作です。
0:46:03	今日の資料だと文言は多分ないと思いますけど、今日資料提示のものとかごがあってもいいので、おかしいから、もうちょっと今日の話の踏まえた記載にしといていただいて、
0:46:18	その記載を踏まえながら、今日提示資料ではこうですというのは、口頭補足してもらったらいいかと思います。
0:46:27	はい。日本原燃志田でございます。いたしました。
0:46:30	谷です。今後整理を行う前提で1点だけ確認しちゃうけど、外部衝撃で最高値竜巻積雪パターンと、他の外部衝撃で高温と欠落ナイトウとか、
0:46:41	日付変えたりしてるんですけど。
0:46:44	機能が変わるやつと変わらんやつっていうわけでもないような気もしているんで、何か住み分けしてるんだと住み分けして構わないですけど、今新しいはこうですって書いてあるんですけど。
0:46:54	他のいっぱい載ってないものかどうかよくわからない。はい。はい。はい。はい。
0:47:02	はい。なんかはさんは確かに清次長の印税とかって何か言うような気がするけど。
0:47:08	%って、他の事象と何か違うんだけど、いろいろわからんことができるので、
0:47:15	違うのが、導入部分の防護対象機能要件の話なんかはい、後で個別の対策出てきますよっていうだけの話なのかとか何かよくわからない。もし後ろの方の話だったらもう決めちゃえばいいだけの話な気がするんで、はい。
0:47:29	規制庁コサクです。まず、
0:47:32	5ページあまり詰めるつもりはないんですけど、食う理解をしておこうとすると、
0:47:41	このページは、そもそもこのページの意味は、その前の4ページの一番上の
0:47:50	白い矢印。
0:47:52	に載せるものが何かというのを特定をするというタスクのイメージですよ。
0:47:59	いうことと言えば、左側の4、小さなポツ四つめっていうことになると、
0:48:07	いうことになりますけど。

0:48:10	その中で、
0:48:13	赤は、
0:48:16	右側に持ってって整理をしなければいけないもの。はい。
0:48:20	ということです。
0:48:21	一方、
0:48:23	案は、
0:48:24	持っていかなくても、統合して説明をする問題ですという自明なので持ってかないでそのまま、
0:48:30	まとめます。はい。
0:48:32	いうもの。
0:48:33	緑色は、これも統合するものでは、
0:48:39	あるんだけど、もうさらに自明ですか。はい。ということで、
0:48:44	色が分けられてると、いうこと。はい。
0:48:48	そうすると、残りは紫ということですけど、村崎は、
0:48:58	何て言えばいいのか、ちょっと補足つけますか。はい。弓削ニシダでございます。はい。これは、村崎のところは、SA、
0:49:07	の要求として、
0:49:11	SA単独でって言い方も難しいですけど、説明をしなければいけない項目ということで整理をしています。はい。
0:49:19	規制庁コサクです。個数容量とかは、他でも機能がSAとしてとっていると、同じ範疇だと。
0:49:27	いうことでいいんですけど。
0:49:30	一番上の重大事故等の条件はそういうわけにはいかないと思うんですよ。この中に地震も入ってるし、はい。
0:49:36	はい。
0:49:37	ていうのでちょっと検討が足りてないってことかなと思う。
0:49:41	ます。
0:49:48	と、
0:49:49	それである一方で、
0:49:52	表、表現が悪いんですかね。
0:49:54	足二つ三つ目のポツにその地震が入ってきているので、
0:49:58	重大事故時の条件っていうゴトウの内訳がちょっと、
0:50:04	言葉を整理をした上でっていうこと。
0:50:07	なんだと思います。

0:50:12	整理をした上で、
0:50:14	何かSAとして特異に説明しなきゃいけないことがありましたっけっていう。
0:50:21	分類を分けてまで、
0:50:24	ていうのがちょっとよくわからないので、
0:50:27	一番上のところはその下の三つ目の厳しい条件、さらにもうちょっと下の火山としての厳しい条件と、
0:50:35	いったことと合わせて、少し考え方を整理して、
0:50:41	おいていただきたくて、
0:50:45	へえ。
0:50:47	前、前の日、進め方部屋とかでも話したと思いますけど、火山ってそんなにDBと違いはないよねって言っていたにもかかわらず、
0:50:57	これをそのSAとしてやりますっていうのはおかしいんですよ。
0:51:01	耐震、
0:51:05	あって、
0:51:08	入力を1. 二倍するだけですよねということであって、
0:51:13	ここ、
0:51:16	これまで話してない黒字になってますけど、結局耐震の方でやりますよってということなので、ある意味緑と同じ。
0:51:23	ような、
0:51:24	扱いになってるんですよ。
0:51:30	いうこと。
0:51:32	火山と地震でも扱いが違くなっちゃってるし、
0:51:36	一番上の条件ということとの関係もよくわからない。
0:51:41	はい。これは、
0:51:43	どこ入ってやります。そうですね。弓削西原でございます。ちょっと、
0:51:51	この
0:51:52	7日に出す資料までに何かもうちゃんと整理をして、その考え方は説明できるようにしておきますもともと、5ページの一番上の重大事故時の条件って書いているのは環境条件という意味で温度湿度とか放射線とか、よくヤノ問題の話をして、
0:52:09	つもりでしたので、それに入らないものの条件みたいのは地震以下それぞれでやっていく。

0:52:15	ということであとその環境条件みたいなものは、何か単独で説明するとうどどちらかという操作性とかの条件みたいになるということでそのリンクを張ればいいのかなどという感じもしています。はい。
0:52:28	あとわあ、黒字で書いてある耐震設計は下から二つ目のボツのところの1.2Ssのところに行って6ページに整理を、
0:52:38	きたつもりでいたんですけど、その紐付けがバックってないので、整理、
0:52:42	あとは結局は上の方で行っている緑でありますとか赤でありますっていうのは変わらずに、展開を同じように条件が変わるだけなのでしていくのかなというふうには、
0:52:54	思っております。
0:52:56	はい。MOXの時も出た1.2Ssのところの耐震なんかは、どちらかというと、やることは、耐震設計とは変わらないんですけど1.2Ssを見た時に何らか付加価値をつけなきゃいけないものがあるんであれば、
0:53:11	最初の段階で36条として設定をして、あと計算設計なんかは、
0:53:15	耐震岸壁、
0:53:17	ことかなと思う。
0:53:18	そういったことがちゃんと意図がわかるようにして、
0:53:26	はい、古作です。今日の紙提出資料ではできないでしょうから、それを受けて作っている。
0:53:36	はい。7日の提出資料のところで、そうは受けてなかったけどこういうふうを受けたつもりでやってもらってますということで書いていただいて、
0:53:48	そちらで若干、今日の提出資料、リバイスしたような扱いにして、8日ヒライ。
0:53:55	いうことにできればと思う。
0:54:00	大橋さんはして、うん。
0:54:08	の橋場さん。
0:54:10	一方、単独の設備においては、
0:54:14	これは、
0:54:15	最近なんかも、ちょっとその、
0:54:23	表現者でございますこれはどちらかというと、これを書きながら下の設計説明グループの設定と話がJavaでなってるんだと思ってもいたので、
0:54:34	その整理をさせていただきます。とは説明グループせ、設計説明分類だったり説明グループの設定で決めておかなきゃいけないことと、共通にて整理をすればいいことって多分あるはずだ。
0:54:46	その線引きをした上で思っています。

0:54:49	一つ
0:54:53	今、単純な前提条件として
0:54:56	若干考えていたのは、下の二つポツの方ですね、ちょっとぐちゃぐちゃに文章書いてますけど、設備目線で見た時にはDBSA兼用のものは、
0:55:08	この間MOXでもいろいろな資料1でご指摘いただけてますけど、枠を二つ分けてもあまり見なくて使用表も1本で、範囲を注書きで書いたりする範囲なので、一つの設備だとすると二つ設計説明文でつけても、
0:55:23	何やっとなのかよくわかんなくなっちゃうのでこれ1個でいきましょうということには変わらないかなと思っていて、
0:55:28	プラスSA単独の設備に対しては当然SAのフラグをつけといて、
0:55:33	それが組み合わさって資料2でいろいろといろんなところに二つの設計説明ふりが出たときに、どっちで説明しますかっていう整理は、多分代表性の説明を資料2でどうするかっていうところにかかっているんで、
0:55:45	説明グループの設定の話とあとは資料2でどう説明するかっていうところの、線引きをちゃんとした上で、最初に決めていけなきゃいけないことはこういうことだと、だからこの時点でここまで決めました。
0:55:57	あとは資料2を整理したときに、細かい微調整はあるかもしれませんがっていうことで、いいかなと。
0:56:03	その辺の線引きをちゃんとした上でここで決めなきゃいけないことを設定したいと思います。はい。
0:56:13	はい。はい。はい。
0:56:17	規制庁戸塚です。私も4ページの今、
0:56:23	左上の四角の最後。
0:56:27	については、
0:56:30	グループ設定なり、
0:56:31	もう踏まえながら、
0:56:33	あります分類の中でも、グループ二つに跨っていて、この会では、このグループの時にはこの部分、
0:56:41	御説明。
0:56:42	その後のグループで、この部分の方に説明。
0:56:46	いうこともあり得るというふうに思ってい泉で、
0:56:51	ここの文章だとそこら辺読み解けないんですけど、そういうことが整理されるんだろうなと思う。
0:56:57	出ますんで、これもここも詰めてもしょうがないので、さらに、
0:57:02	供試予定時の部分が、

0:57:06	今日は方向性だけに共有して、
0:57:11	8日のヒアリングの時に、できる範囲の議論してその次の段階は説明グループの設定も含めて全体、整理をする。はい。
0:57:22	ということで認識が合えばいいんじゃないかな。
0:57:25	ます。
0:57:28	はい、西原でございます。
0:57:32	蛇足というかちょっと話、今の関係で若干ずれますけど、
0:57:36	MOXの設計説明分類もSAのやつ決めなきゃいけないっていう話をしている、
0:57:42	この先ほどの左の枠の下から二つ目のポツの考え方でいくと、MOXの第2回の申請の、今まで17番で重大事故対策って書いてましたけど、あれはですね、3ポツの、
0:57:56	換気設備2年かかって、
0:57:58	設備が問題登場するっていう説明グループの順番になる。5番目でSAの話だけをやる。ただそのときには、グループ1とかで説明した換気設備の設計とかを呼び込みながら、
0:58:10	ここが付加価値の分ですみたいな説明をしていくっていうことで、整理になるかなというふうに思ってます。はい。
0:58:17	はい、尾崎です。
0:58:19	そうだろうなと思っていたので、
0:58:22	ようやくここで物も含め、繋がって整理ができる。
0:58:27	鳥飼シマ
0:58:29	それで言うとその複数の整理も並行してやりますっていうふうに概念だけ言われて、なかなか登場してませんでしたけど、共通12の中では入ってくる。
0:58:40	そういう関係からすると、
0:58:47	8月23の冷やで登場するのか。
0:58:51	その次の共通中になっちゃう。
0:58:54	8月23の時には少なくとも登場させます。
0:58:58	この第3回以降に出てくるMOX特有のやつも、多分おそらくこういう考え方で同じ考え方でいくこうなりますっていうのを、宣言した上で、
0:59:08	少なくとも共通中にも当然反映するしっていうところでリンクがとれればなと思ってました。
0:59:15	遅い。
0:59:19	そう。

0:59:20	ええ。
0:59:21	渋滞。
0:59:23	と、あと、
0:59:25	3 ページ、4 ページ、5 ページ。
0:59:32	この辺りでいうと、6 ページが取り残されているので、6 ページをちょっとお話。
0:59:39	今日見た方がいいかと思うんですけど、統一あんまり話すことはなくて、
0:59:47	今の話の中に包含されてるような気はするん。
0:59:52	ですけど、
0:59:59	何となく、
1:00:00	十時 17 で整理をすることがまじってるような気がするんですね。
1:00:05	SAとして展開していうのはおそらくSAの添付書類の中で書いて、DBの添付書類の枠の方に持っていきますっていう意味合いで書いてません。はい。
1:00:15	日本社でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで、添付書類の構成だったり役割分担のところまで大分踏み込んでいるので、
1:00:25	単純に共通中にやろうと思えば、
1:00:29	SAの設計説明、36 条のシートで説明、ここまでやりますっていうフラグを立てなきゃいけないところと、竜巻がフラグを立てないといけないところ、二つ出てきますよっていう宣言だけでければ、
1:00:42	枠としては別にそこまでと十分かなと思います。中身まで踏み込まなくても、
1:00:48	はい、古作です。そういう意味で言えば分類わあ、耐震の分類の中でやりますっていうだけなんですよね。
1:00:58	その上で十時 17 に行ったときに、この領域はこういうふうに整理して流していきます。
1:01:04	いうことだと思うので、今日はどちらまでの資料なので、いいとして、
1:01:10	次回以降はその線引ちゃんとして、
1:01:13	7 日の資料は、
1:01:16	誤解しないように、
1:01:19	ます。
1:01:20	それって、
1:01:23	一方で、ここに表れてくると思うんですけど、

1:01:28	前も話したように田井親王添付書類の中で機能維持のところ非常に弱い。
1:01:35	いうところLower
1:01:39	耐震のヒアリングでもうお伝えをしているし、進め方費用とかでもお話をしたと思うんですけど、
1:01:45	そこにさらにSAが入って、
1:01:48	ということです。それはモック数能工程室ですかね、のあたりでもう第1回 のときに話をしている。
1:01:59	ものなので、そこをどう整理をし、耐震計算につなげていくのかと。
1:02:07	いうことがこの、
1:02:11	ポイントなんだろうなと思ってますので、
1:02:20	そのあたりを、
1:02:23	どう進めていくのかっていうのは今後、
1:02:26	話をしていきたい。
1:02:30	ですけど、
1:02:32	それで言うと、
1:02:37	説明グループの設定のところ耐震の説明どういうふうに進めていきます か。
1:02:44	ということが大事になっていて、
1:02:47	2-1の説明の中に当然機能維持の方針、
1:02:52	が入り、この機器はこういう方針なので評価としてはこうですと。
1:02:57	いうところを、資料に資料3、
1:03:00	表していただかなきゃいけない。
1:03:04	そこで表していただいて、それを集約した形で、添付書類にどう書かっ ていうふうにまとまっていく。
1:03:12	いう流れなので、それを
1:03:15	どういう順番でどう話をしていきますかっていうのが説明グループ、う ん。
1:03:20	ナカノ耐震の項目として、どう入れていけばいいかと。
1:03:26	いうこと。
1:03:28	だと思います。
1:03:29	提示いただいたやつだと耐震評価設備、
1:03:34	っていう枠で書いてありましたけど、

1:03:38	それが本当にどこにあればいいのか、本当にその枠でいいのかっていうことをコメントしてあったと思うんで、SAでの耐震
1:03:47	に関する機能維持、
1:03:48	ということだったり、その他も多少イレギュラーな機能維持の評価をしなきゃいけない部分もあると。
1:03:56	で、そういった項目を意識してですね、どういう順番でどう議論していくと。
1:04:02	その和風がうまく議論していけるのか。
1:04:06	いうのを、
1:04:09	23 の日や、話ができたらいいんじゃないかなと。
1:04:13	ますけど、
1:04:15	表さんイメージできますか。
1:04:25	規制庁、
1:04:27	共通中に何度や、機能維持って今言ってるのは何ぞやということを少し
1:04:33	第 1 回のボックスでの議論とかっていうのもフォローしていただいて、
1:04:39	話についてくれるようにしており、
1:04:41	はい、承知いたしました。
1:04:45	はい、西原でございます。はい。
1:04:48	そうですね一定にテスト時に、
1:04:53	SAとしての添付書類で、いろんな要求事項を書いてきたところを、共通要因的にじゃあどういう展開をするのかっていう整理をちゃんとしてですね。
1:05:03	それぞれ、先ほど 1.2 イセ付加価値がって言いましたけど、当然手に対しての要求に対してどう設計しないといけないかっていう形があるはずで、
1:05:12	そういったところと機能維持の関係とかも含めて整理をしていく。
1:05:16	特に黄色いおっしゃっていただいたように、
1:05:19	もともと添付書に行きたいな、ロットしか書いてないので、
1:05:23	成り行きというか結果論というか、そんな形の書き方になっているところを、ちゃんと設計としてどう書くかというところかと思ってます。はい。
1:05:36	はい。規制庁コサクです。そうしましたら、
1:05:41	2、1 ページ。
1:05:45	1 ポツ、括弧 202 の竜巻溢水側の措置。
1:05:52	こちらの方から、

1:05:55	谷です。熊木に関しては、前回ヒライで伝えたてになっちゃうんですけど今の状況は、
1:06:04	順調かっていうのは、
1:06:11	等もついヒアリングで、
1:06:16	端的に言うと、ヒアリングの世界ヒアリングの、
1:06:19	ますか。
1:06:21	そうですね。設計の考え方ということで、
1:06:25	一応ですね、関係者集まって、どういった考え方で、今、流れていってないっていうのは、いろいろ細かい話も知らないんですけど、一応枠をです、関係者として、
1:06:37	その細かい、
1:06:42	考え方の設定についても、
1:06:47	これはもう、
1:06:48	特に、
1:06:49	共通中にも、
1:06:51	前段階です。
1:06:52	整理、
1:06:53	これが資料1で、それが資料2-1-3というところの、今回やってる作業のどこをどう繋がっていくのかっていうところは、お手紙でしっかり進めさせていただいて、その上で、
1:07:08	その共通に繋がっていくのか。
1:07:11	上で、なおかつ
1:07:16	まあ、
1:07:16	対応しないといけない。
1:07:29	ちょっと中に
1:07:30	見てもらわないといけないとか、
1:07:38	規制庁帯磁率今言っていたように、結局共通中に最後つなげる形になっていて、今回の共通ジンノ狭いとして何を整理しなければいけないのかユフ中にどうつなぐのかっていうところをしっかりしていただければという話になると思うのでよろしくお願いします。で、
1:07:53	住民の方の話になると、すいません、リベート的な話もありましたけどそういったものも充実、整理してかなきゃいけないような形になると、まだよくやっていかないと今言ったところ、極端になっちゃうような気がするので、

1:08:04	一つ一つ一つ住民の前段階として整理するものをしっかり行っていただければと思うんで、よろしくお願いします。
1:08:11	お願いします。
1:08:17	規制庁谷内発のキーで他にあればお願いします。
1:08:21	はっきり言ってもいい。
1:08:28	はい、規制庁されるのが一斉まで行かせていただきます。一緒に関しては、
1:08:35	進捗っていう意味でいうと2年生だやつがこないだ出てきた資料だけだと
1:08:41	井清と塑性Bに矢印説だけど3ページであって、イトウ1を、
1:08:47	重大事故の方で整理の方を1伸びる形にはなってるんですけど、結構ここも先ほど話に出たように
1:08:55	ESAっていうふうなところに行われているんじゃなくて溢水事象として、それぞれ何成果評価するのかわ、そこで評価してこうっていうふうになると是正条件というのは最低限整理しといてもらって評価に繋がらないので、
1:09:07	タカノシライササキますよねっていうところを、8月4日に安井なんてこれ8月7日の資料でそこらも多少見えるんですね。
1:09:14	相田です。はい。はい。
1:09:20	あれはまずいところでしょう。ちょっとあれなんだよ。
1:09:26	はい。日本原燃さん
1:09:28	フローフローというのをもう全面的に書き直してますけど、の、
1:09:35	説明この間したものバツが
1:09:38	確かまだバツは1スミダ
1:09:40	はい。
1:09:41	あと考え方があって、そのイセナリタのパートの説明をするというのは7日に出そうと。
1:09:47	はい。
1:09:48	はい、規制庁とニイズアノイシカワ複雑なパターンにすると思うんで1セキネは多分お金できるような気がしてるので、8月4日の日のところで見さしていただこうと思ってるんでよろしくお願いしますで。
1:10:00	それを踏まえた上で20、
1:10:03	24日終了です。29日のところは以前共通中に入る前について片付けなきゃいけないところは、三つまとめとしてるところなんですけど、こちらでも対応状況を確認できればと思っています。

1:10:13	お願いします。藤。
1:10:16	丸に関連で2分以上です。
1:10:23	規制庁コサクです。
1:10:26	今の多田椎野で、
1:10:33	思うんですけど、
1:10:35	7ナカ資料提示4日日やって、
1:10:40	時間が短くてですね、8日2、
1:10:44	揉み切れるのか、それを踏まえて、もう一気に
1:10:50	24日資料提示の29日日や、
1:10:53	うん。
1:10:55	つなげられるのかなあというのは若干、
1:10:59	不安というか、わからないことが、はい。
1:11:03	多いので、とりあえずは資料を見させてもらって4日で、
1:11:07	話をさせてもらいますけど、
1:11:10	その場でどうしていくっていうのもまた話をするようになるんじゃないかなと思いますけど。
1:11:17	大変なもんですかね。はい、日本ネシアでございますはい。書いておきながら、業種計算の評価も午前中の時間体ということもあってあまり時間も無いし、こちらが資料出すのも前日ということで、
1:11:30	まとめていくにあたっての方向性だったり、整理の方向が
1:11:38	どこが問題があるかっていうところのポイントがまず確認をさせていただければそれをもっておそらくですね。
1:11:46	(2)の①番じゃないですけど18で23とか何か合わせて説明ができるようにまたヒアリングをセットして、全体を微調整していくってことも、
1:11:56	やらないとだと思いつつ、すみません仮置みたいって書いてますけど、全体としてはそういう形になると思ってます。はい。
1:12:06	はい、古作です。わかりました。8日ヒアリング
1:12:12	を踏まえて、
1:12:17	この下方に進めた費用ってことなので、はい。進め方部屋の資料を8日定数になってるんですけど、
1:12:26	4日の話を踏まえなくて意味がないかなっていう気はするので、
1:12:31	資料提示は当日でも構いませんので、少し整理して、
1:12:38	対応していただいた方がいいかなというふうに思う。
1:12:42	はい、与儀西部でございます。はい。

1:12:45	いたしました。はい。
1:12:50	8 日が、
1:12:51	目印で終わり。
1:12:57	はい。
1:12:58	はい。
1:12:59	多分悩ましいところは今の部分だと思うんで、他は微修正はあるかもしれませんが、この程度ですから、
1:13:07	よろしくお願いします。
1:13:15	OKデパええ。
1:13:17	規制庁、古作です。2 ポツの耐震関係。
1:13:23	振り替え。
1:13:24	ますが、耐震の方はヒアリングをしているものを反映していただいているのが、
1:13:32	ほとんど先ほどの資料の中でっていうのは改めて
1:13:38	もらえれば、
1:13:41	です。
1:13:42	もう、
1:13:46	担当から、まず何かありますか。
1:13:49	はい。規制庁、秋葉です。1 点だけなんですか。
1:13:56	私から規制庁ハバサキです。
1:13:59	今も話があったように一昨日、ヒアリングをして、本日提出というような、そういう流れの中ですれねちよっと今日提出される資料について、両括弧 1 の方は、これについてちよっと再度確認したいんですけども、
1:14:16	これ一昨日のヒアリングにおいてですね現状不足している説明項目、まず説明項目ですよ。
1:14:23	これ各検討の方針であったり、考え方、方法について、まずその記載が抜けてますねという話をしたと思いますけど、そういう項目が今後、08 の中でこういうところに記載する予定だと。
1:14:39	いうことが、今日の資料の段階では説明があると、説明といいますかそういう資料が提出されるというように、まず理解しとけばよろしいですか。
1:14:48	日本原燃の後藤でございます。はい。ここにいくと多分合ってると思うんですけども、今やってる作業は、今のご提出している補足説明費用の中で、その根拠を

1:15:01	と、それからそれにまつわるデータ含めて、ここ足りないよねっていうのピックアップといいますかリストアップをやってます。
1:15:09	アップしたものがですね、今後またそれを追加を補足説明資料ナカニシていかなくちやいけないですけども、どこの補足説明資料に不足があってどこに入れていく予定であるかと。
1:15:22	いったところと、いつ入れていく予定であるかといったところを、記載するような格好のものを今準備してございます。以上でございます。
1:15:32	はい。規制庁山崎ですちょっと今の話がですね方針的な話と次に言おうとしたデータの話と、もう多分両方混在してると思うんですけど
1:15:42	データに関しては、これは一昨日言いましたけれども、例えば減衰を決める上での地震観測の地震の、ピックアップする地震の、その数が足りないんじゃないですか、或いはシミュレーションが今二つの地震でしか行ってないんですけども、
1:15:59	それで十分なんですけども、
1:16:03	先行例のような形で拡充する必要はないですかということに対する、予定といいますか、考え方が、その資料の中に示される。
1:16:13	いのように理解しておけばよろしいですか。日本原燃の大口でございます。はい。今おっしゃっていただいた、対応するですね方針といいますか、こういうものが足りないのここ拡充して参りますと。
1:16:26	要は我々の計画的なものが見える形というふうに思っております。以上でございます。
1:16:33	はい、施設ヤマザキです。わかりました本日提出の資料を見させていただければと思っておりますが、ちなみにですねちょっとこれ先取りになっちゃうかもしれませんけれども、
1:16:44	一昨日ちょっと言わせたといいですかこれ、ヒアリングでは言ってるんですけどね、シミュレーション、地震観測のシミュレーションのところ、上下成分のシミュレーションがないですから追加するよっていう話したんですけども、
1:16:59	それは、事業者としては理解しているということよろしいですか。日本原燃の郷でございます。ある再現解析でのということですよシミュレーションとおっしゃっていただいているのは、
1:17:11	規制庁ミヤクス再現解析というか減衰を決める時に、Q値のパラメータを振って、シミュレーション結果と比較した。
1:17:24	結果が出てますよね二つの歳出を、余震に対して、それに対して、はい。

1:17:33	ということなんですけども。はい。
1:17:35	ですねすみません今ちょっと相当できたんで確認いたしますそれで答えさせていただきます。
1:17:40	はい、田端日です前回のヒアリングでUDの話はしてますんでですね上下成分の話はしてますんで理解してる村もらってると思いますけど、一応確認です。はい。
1:17:51	はい。
1:17:53	規制庁浜崎ですちょっと続いてですね片括弧杉野規制庁期中です。すみませんちょっと割り込んでいますけれども、
1:18:01	今言われたやりとりに関連してなんですけども、今日出てくる資料において、一応8月2日のヒアリングを踏まえた不足項目抽出された、
1:18:14	出てくるということに関して、8月2日のヒアリングがいろんなやりとりがあったけれども、というハバサキの指摘に対してそれをちゃんと踏まえた上で不足している。
1:18:24	認識合ってるかどうか不安だけどってというようなことをおっしゃっていましたが、ちょっとそれについて確認なんですけれども、8月のヒアリングって、先ほどハバサキからもあってですね、
1:18:35	結論がこれだっらずっと維持するだけの事業やってきて、そうじゃなくて結論に至るまでの方針とか考え方とか全体の説明の進め方とか、
1:18:47	があってそういったものがあるべきで、結果についての分析出しで、今何か困ってるのであれば、それを今後どうしていくんだってというような展望も含めての説明があるべきでといったやりとりがあったと思ったんですね。
1:19:01	そういったやりとりを踏まえて、
1:19:03	建物08についてもいろいろと不足があるから、ここどういう不足があるのかを説明しますということで今日資料が出てくると思っているんですけども、
1:19:13	そういったことを踏まえて、不足した項目やデータが抽出したものが出てくると。
1:19:20	そういった説明が、来週月曜日に書かれている部分。
1:19:25	何となく理解できたんですけどそういう理解でよろしいですか。
1:19:29	はい。日本原燃の後藤でございます。イエスであるというお答えなんですけれども今おっしゃっていただいた方針についての、そのたずーといえますかそれがあるよねと。

1:19:41	要はご指摘もいただきまして我々もですねこの補足説明資料の中でですね、ハウシンチックなところを書いているところは、一応なくはなくというところやったんですけどそこを見ようと。はい。
1:19:54	規制庁です。多分、はい。足りないんです。
1:19:57	はい。
1:19:57	そそれをご指摘はいただいたんだというふうには思います。そうです。先ほどの野本さんの説明ぶりを聞いてて絶対入ってないなと。はい。思ってます。
1:20:08	はい。空中戦やってもしょうがないんで、出してみっていうことなんですよ。出してもらってやっぱり入ってないねそういうことだよっていうことを、もう一段2段やらないとわかってもらえないんだろうなと。
1:20:20	思ってますので、7日に話ができればいいんじゃないかなとは思ってます。そもそもが説明項目って言うてる時点で方針を説明しようとしてないなっていう感じがしちゃう。
1:20:33	ですよ。はい。方針っていうのを説明項目と、
1:20:37	いうのを一つに、
1:20:39	上げてるってことですか。
1:20:41	ですね、すこ。特に減衰ですね。2番は減衰だけじゃなくて全体的な考え方フィロソフィーが、はい。皆さんは示していると思ってるところが全く我々には伝わってないってことなんです。
1:20:55	うん。はい。で、先ほどの野本さんも書いてないっていうわけじゃないんですけどっていうところを、はい。多分、エンジンチームを変えていると思ってるんです。はい。
1:21:05	こちらは書いてないと思ってるんです。はい。その温度差を埋めていかなきゃいけないっていうことなので。はい。それを野元さんが書いてると思ってますって言っちゃうと、いつまでたっても埋まらないんですよ。はい。すいません。日本原燃決得です
1:21:20	当然今日出して、答え合わせ。違うって話になろうかと思えますんで、まず原水の実際の作業ですけども、当然エンジンチームが考えても自分で書いたやつを、
1:21:33	自分で不足してるとなかなか見つけにくいので、減衰のところにつきましては明石さんに、昨日も1日中つき合ってもらって、コガタナカ高校フクダというアドバイスをもらいながら抽出しました。ですから、
1:21:45	当間説明項目って書いてますけど考え方、根拠進め方伝達の方が書けてないよといったところのピックアップはしたつもりで、今日は一旦資料

	出させていただきます。ただ、小中さんおっしゃったようにまだ、それでもまだ考え、
1:22:00	赤井さんに見てもらった減衰だけですので他のところも、四つありますので、4 倍の作業があるわけですが、十分できてないところもあろうかと思っておりますのでぜひ
1:22:10	我々今日は、我々の考え、抜き出したのもよく工事を出して、7 日にまたじまいをちょっと、また、ご指摘いただければそれを、
1:22:18	反映していくという作業をすいませんお手数かけますが、おつき合い願いたいと思います。はい。
1:22:23	はい。古作です。そうやって、徐々に埋めていくしかないかなと思いますので、
1:22:32	なるべくその回数が少なくて済むような、ニタリングチームとして対応いただきたいと。或いは
1:22:38	試験は、先ほど明石さんも出していただきましたけど、
1:22:43	先日のヒアリングでも赤瀬さん 1 人では、減衰のところはどうしても明石さんにご尽力いただかなきゃいけないと思うんですけど、それ以外の項目まで頼り切ってしまうとオーバーフローするので、
1:22:55	その点をどうしていくのかっていうのは体制も組んでいただきたいですし、
1:23:00	先ほど決得さんが 4 混 414、28 で言われましたけど 4 石を抽出するところにも、
1:23:09	検討があって、そこら辺の考え方っていうのもすごい数なん。
1:23:14	ですね。
1:23:15	うん。なので、そこら辺もしっかりと分析整理をしていただかなきゃいけないっていうところもありますから、そういうのをまたなのかなり、
1:23:25	ヒアリングで話をしている、介護、
1:23:29	までにはなるべく話をさせていただけるように、
1:23:33	いうことが必要なんだろうなというふうに思ってます。はい。日本原燃の方でございます表示いたしましたアノをちょっと、認識をどんどん合わせていかなきゃいけないということで、
1:23:45	ちょっと突っ込んだ話で申し訳ないんですけども、今先ほど申し上げましたように今の 4 市それぞれに対しての、足らずといったような観点で今まとめておりました。ですので今ですね、

1:23:57	お話のあった4因子を組み合わせて、地盤モデルを設定していく方針に関する足らずというものがあるという、それを出さなきゃならないという認識が、
1:24:09	平均ももちろんすけど私もある程度あれできてるんじゃないかねなんて思っておったというのが今、実情でございます。だから、ここ、本当に合わせていただかないといけないと。
1:24:21	いうふうなところになると思いますので、ちょっと今日の資料も提出させていただきますし、そこんところちょっと、申し訳ありませんけどやりとりさせていただきたいと思います。以上でございます。
1:24:35	はい。古作です。
1:24:37	相互の関係はハバサキからもう毎回のごとく言っていた話なので、なぜキャッチしていただけないのか、いただけてないのかってのは非常に不安なんですけど、よろしく願います。で、
1:24:50	それに関連して言いますと、
1:24:52	耐震にも限らないんですけど、
1:24:57	Steeringチームってなっているにもかかわらず、まだしかも毎回ヒアリングのたびに振り返りをして項目を明確にしていると。
1:25:08	いうことにもかかわらず、その次の会議体を漏れがあると。
1:25:13	いう、或いは
1:25:15	と置いてない。
1:25:17	ていうことが続いているのを何とかしていかなきゃいけないんじゃないかなと思ってるんですけど。
1:25:25	そこはどうしていけばいいんでしょう。
1:25:30	決得さんがいいのかな。
1:25:33	はい。
1:25:35	Steeringでイシハラ以外は外から来たメンバーでやってんですけども、大分経ってるんですけどもやはりまだ
1:25:44	許可のやつ、ブースしか見ていないとか議事録でしか見ていないとか、流れが許可とつ時の流れが十分把握できていないという実態も出てきてございます。ですから、
1:25:54	どちらかというとエンジンチームがこうだと、こうなってますと言ったらそれをちょっとうのみにしてしまっってその田嶋由井を見つけるところがあります。2日のヒアリングの時にですねコサクさんから、
1:26:07	言われたのは、規制庁の要求と、日本原燃のやったことこの乖離があると、ここを見つけ出すんですが、Steeringチームの役割だと言ったところ、

	我々少し説明責任とかそんなわかりやすい説明に入ってますけど、そもそも項目が抜けてるよと。
1:26:23	いた視点ってのちょっとすいません抜けていたというのはもう言い訳にあるんですけども、十分できていなかったのが実態だと思ってるので、そこを、にちゃんと着目っていうか重点を置いて、そっからやり直さなきゃいけないという認識に立って、今、Steeringの
1:26:38	2日の日にヒアリングを受けましたので3日の朝にヒアリング集めてこれ徹底してます。ただ、イシダばかりですのでまだできてないところがありますけどもそこ、その返りをちゃんと見つけるといったところに重点を置きたいと思っておりますまだ、
1:26:51	東條で申し訳ございませんけど頑張っていきます。
1:26:54	はい、古作です。それ、
1:26:58	ていうと、これまで一やってきた。
1:27:02	なるべくそういうことがないようにっていう取り組みで言えば、コメントリストを作り、対象方針を整理してと。
1:27:10	いうことなんですけど。
1:27:12	先ほどもハバサキから
1:27:16	鉛直腔の部分が出てきて、指摘もしているっていうことを、
1:27:22	対応がどうなってるんだっていうのを、ノモトさんが把握していないっていうことからすると、
1:27:27	そういうコメントリストでチェックしていくっていう対応してないんじゃないかっていう気がするんですけど。
1:27:33	日本原燃の郷でございます先ほどちょっと確認させてくださいという言い方をしてしまったんですけども、ちょっと私のですね、脳みそんキャパの中からちょっと漏れ落ちてるなと思ったんであんまり不正確なことを申し上げてはいけないなど。
1:27:45	いうふうには思いましたんでちょっときっちり確認していく確認、回答させていただきたいということでございます管理するところでは、コメントをいただいてリストに挙げてるものは全部対応してるはずではありますので、
1:27:57	それはちょっとごめんなさい、古作です。はい。対応してるはずだったとおっしゃってたけど31日の資料の中に、この項目は追って入れますっていうことが入っているはずで、はずですはい。それが入ってないんだから漏れてるんですよ。いえ、今ですね、今ちょっと作ってる資料を、今、農務省の中でキャパ

1:28:16	で全部ちょっと今の雨森からさせてもらって、4日に、今日の資料で、足りない部分があって入れますって書いてあるかもしれませんが、はい。
1:28:29	そもそも31人入っていなかったこと自体で、対応から漏れているっていうのが事実なんですか。はい。はい。
1:28:36	なので、その時点で少なくともエンジンチームは、そのタスクを漏らしてるんですよ。はい。はい。
1:28:44	ていうのをチェックできてないっていう事実は認めなきゃいけない。承知いたしました。はい。で、
1:28:49	それをちゃんと拾い上げるっていうタスクを今回4日提出の資料でやってるかっていうと、この2日に言われての対応だから、そんな精緻にやってるわけじゃないじゃないですか。はい。
1:29:00	私だってそんなことできないので、
1:29:03	であれば、とりあえず急ぎで方向性とか、うん。
1:29:07	いう粗々のところは出してねっていうふうに、私も2日の時には、4日なので、大枠でいいかなと。
1:29:15	いうことを申し上げてますから、この段階で全部耳そろえて出せっていうつもりではないので、抜けててもいいんですけど、
1:29:24	その、その上で、じゃあいつまでにどこまでしっかりとやりますかと、いうことを7日に話をしたいと思いますので、コメントリストどこまでの制度になってるのか。
1:29:39	相当な量のコメントになってるはずなので、毎回繰り返し同じこと言ってるんで束ねばそんな量じゃないかもしれませんが、
1:29:46	その整理の中で埋もれてしまってるものもあると思うので、しっかりとね、
1:29:53	抽出して、或いは包含していったるようなところを分解していくっていう作業も本来だとあるはずなので、そういったところをしっかりと整理をして、
1:30:04	或いは有識者に聞いて、こういうところが足りないよっていうのを上げていくという活動をさらにやっていただいて、
1:30:12	こちらが再度言わなくても、資料として充実できるようにという取り組みのスタートを切っていただいて、7日にこういうふうに取り組むつもりですぐらいいは、
1:30:24	言って欲しいなと思います。
1:30:26	はい。日本原燃野本でございます承知いたしました。
1:30:31	古作です。ハバサキさんキシノさんどうぞ。

1:30:36	はい、山崎です遅部長さんありがとうございます。これ私自身も反省しなきゃいけないのは、こう伝えたことによって伝わってるだろうと。
1:30:46	いう思いが今までも何度もあって結局うまく伝わってなかったということもあるんですね、今後そこをしっかりと、
1:30:53	伝えるべき項目を具体的に伝わっていることを確認しながら進めたいと思います。
1:30:59	それですれねちょっともう1点、確認したかったのがですね3、2ページ目の一番上のポチのところですね。
1:31:08	これはまだ提出までが日があるんですが、検討内容についての確認なんで、ちょっと今の段階で確認したいんですけども、
1:31:16	自費が干渉法による検討で括弧の中に尾藤影響についての検討計画って書いてありますけども、
1:31:23	この移動影響についての検討計画って具体的に何を今考えられてるのかちょっとそこを認識か、確認したいんですけども、ですね、日本原燃野本でございます地震は干渉法による検討についてはこの前のヒアリングでもご覧、すいません、若干
1:31:39	議論をさせていただきましたけれども、かなりノイズが乗る、乗っている状態であると。特に仁木ヒガシはといったようなご説明をしているところでございます。そうですねノイズに対して、
1:31:52	ある程度ですねこの処理をきちんとしていかなないとなかなか信頼性を上げるには、やっぱり必要だよねといったようなお話もあるかというふうに、
1:32:04	我々も認識してございまして、そういうですねノイズをですね、に対する分析という観点で、この微増の影響による検討計画って書いてますけどもこれもそのノイズに対する対処の一つであるというふうに思ってます。
1:32:21	そういう計画を今後やって参りますという話もさせていただいておりました。それも含めましてこの中でですね記載させていただくといったようなところを考えているということでございます。
1:32:33	はい。規制庁小崎です。今の説明で理解しました。ノイズキャンセルの話ですかね。はい。それと、一昨日のヒアリングでも、同じ日を捨てちゃうとわかりにくいんですけど、いわゆる常時微動だとかですね。
1:32:46	禁忌、或いは地震動を使わない、比較的、常態的に観測できるような微動だとか、そういう値振幅レベルの小さい板を使って、

1:32:59	原則、減衰の評価っていうものも可能じゃないのっていう話が、確か管理官からもあったと思うんで、その件を、
1:33:08	微動記録を使って、塩水の評価をさらに向上させるって意味かなと思ったんですけどそうではないということで理解しました。
1:33:17	はい。この点については今の説明で理解しました。古作です。
1:33:23	説明はそうだというのも私も諏訪理解をしたんですけど、一方で、今ハバサキがあった微動観測を使っての検討っていうのは、やるつもりがあるのかないかとかっていうのは、どこで説明される。
1:33:39	偽造かそれが非破壊処方による検討の中で、あるのかないか。すみません。ごめんなさい。すみません。その枠に限らず、はい。等で
1:33:50	いやそれも含めて 21 日に説明、資料で説明しますならそれはそれでいいんですけど、ちゃんと説明いただけてないのが非常に不安です。ちゃんと項目に入れてください。はい、承知しました。
1:34:02	それが 21 日でもいいのかっていうことがまた、
1:34:06	うん。になっていてですね、審査会合には間に合いませんよねという感じになるんですけど、この間のヒアリングでも、あの会合でどこまでのことをやりたいのか再整理するように、
1:34:19	ということをお話してますけど、その辺りの方針は、
1:34:25	どうなる。
1:34:26	(2)の、今日提出の中で、
1:34:31	何か調整室でまだ出していないのちょっと空中戦で話して申し訳ないんですけども、今の我々の最新の考え方、進め方でいくと、少し
1:34:44	基準。
1:34:45	地盤モデルを設定するまでには至らないかなと、9月4日至らないかなと。まだ、先ほど自身が乾燥オオニシヒガシをちゃんと精緻にやっていかなきゃいけないというのが、残るので、
1:34:56	もう少し時間をくださいというちょっと不審査会合になろうかなと思ってます
1:35:01	次回やるというときながらちょっと申し訳ないんですけどちょっと遅れがあって
1:35:05	あともう一息ですといった会合になろうかなというんで、今日、
1:35:09	夕方資料出したいと、その方向性の資料を出したいと考えてます。規制庁コサクですわかりました。そうであれば、少なくとも 21 日提出の資料、

1:35:20	の分の中ですね、何らかそのアイテムとして、しっかりと2、どういう認識なのかを明確にさせていただくと、いうことがあれば、
1:35:32	次回の会合で、これまでにやったことの内容をしっかりと説明させていただくと、ということ、そういうことも踏まえながら全体としてこういうアイテムを引き続きやっていきたいと。
1:35:43	それによってどうしていくのかということが話ができるぐらいには、整理ができるんじゃないかなと思いますので
1:35:51	その認識で、また7日の日家で全体像を把握させていただき、
1:35:58	はい。
1:36:02	ハバサキササキ町さん、引き続きどうぞ。
1:36:07	規制庁浜崎です私の方から一応、現時点での確認事項ありました。
1:36:13	規制庁の岸野です。ちょっと文言だけの話なんですけれども、括弧2の二つ目にある、今後の対応方針なんですけれども、
1:36:24	自分モデル策ってのはおそらく本地盤モデルはこういうものだっていうのを示すということだと思いますが、次の施設設計用地震力の設定。
1:36:34	であって、これはどこまでの内容を含むのかちょっとわからないんですけども、まず施設設計用地震力って、
1:36:42	言葉だけとらえちゃうとですね、各部材の断面を示しますよと、各機器の設計の入力値っていうのも示しますよととれるんですが、これまでの話だと、基礎下レベルの入力地震動過程とか、
1:36:58	スペクトルを示して、それから、どういう見直し施設を見直すスースー、設計を見直す施設がどういったものかを選定する考え方とか、そういったものを示すというような話だったと思うんですけども。
1:37:11	何か文言返ってきてるんです。これは前から使ったことでしょうか。日本原燃野元でございます。今記者さんのご認識の通りでございます。
1:37:23	文言が確かに変わっているというのはおっしゃる通りでありまして、ちょっと誤解のないような記載にしたいというふうに思います。以上です。
1:37:33	日本原燃の決得です。あとそれから少し悩んでるのはですねこれ今までは基本盤が確定して、次の話になるのでここと少し
1:37:44	突っ込んだ表現突っ込んだことを書いていかなきゃいけないなと思ってこれ書いてたんですけども、今回実はまだ、
1:37:51	基本盤モデルが確定しないのに、ちょっと次の話をどこまで書くかという、我々もちょっと悩んでましてですね。
1:37:58	コサクです。それで言うと、

1:38:01	プロセスは変えたらいいんですはい。いつとかっていうのと言わなきゃいい。なので、当然申請までしてるわけですから、検討プロセスを明確になって、
1:38:11	Miyakeおかしくて、その上で、
1:38:15	スケジュール、
1:38:17	というその日付みたいな手前のことを言えば、だと思えます。わかりました。プロセスはちゃんとプロセスだけなんですはい、その方向で。
1:38:30	長岸野です。
1:38:32	そういうことで今後、そのプロセ数、
1:38:36	も含めて今後の対応方針というのが、案が示されるんだなと思えますので、対応の方お願いしたいということと、まずちょっと細かいことでありますけど思いつく言葉を変える。
1:38:50	のであればですね、これまでの説明の連続性とか整合性ってことをちゃんと意識してできるだけ言葉をそろえて欲しいんですが、一方で
1:39:00	7月末の27日だとかの地盤モデルの進め方の面談なんかでは、何だったかな、本申請における取り扱いだ表現ってのはあまり正しくないよねという議論もあって、
1:39:13	そういったことを踏まえて表現を変えるっていうことであればそれは当然あることだと思いますのでその場合はですね、こういう考え方で、こういう意味合いでこういう言葉にするんだっていうことを明確に説明していただければと思います。いずれこの
1:39:27	ようになるのかなと思いますんで、そこら辺もネットに行って、今日の資料のことという多分、今日出てくる審査会合案とか今後の修正の過程の中でですね、
1:39:37	それを念頭に置いて、ちゃんと説明が正しくできれば、意識して対応いただければと思いますけれども、
1:39:47	大丈夫ですか。はい。原燃野本でございます承知いたしましたおっしゃっていただいた通り27日の議論を踏まえてちょっと考えあぐねて挙げ句にちょっと言葉を乱暴に変えてしまったかなというふうに思っております。今後気をつけて対応して参りたいと思います。以上でございます。
1:40:05	ツジキシノですはい。お願いします私から以上です。
1:40:09	長コサクです。今の点は前回ヒアリングでも私からも言葉遣いに気をつけてくれという話をしましたので、次回の審査会合が、その点では、
1:40:21	先のそのプロセスまでの説明いただくということで、キーになる会合だと思えます。その際にしっかりと整理をして説明いただくことで、

1:40:32	その後のやりとりが混乱なく進められるんじゃないかなと思いますので、その点でも十分意識をして対応いただければと思います。
1:40:42	日本原燃の郷でございます。承知いたしました。
1:40:46	規制庁の竹川です。スケジュールのところなんですけれど、8月7日に建物では、
1:40:52	ヒアリングを行っている。
1:40:55	暫定とは言いつつ、
1:40:58	内川イシイの資料点数が21日ということで、見られてるということではあると。
1:41:04	当間が確定するのは一応7日のヒアリングを踏まえて、それからちょっとこちらのコメントの度合いとかを見ていただいて、次の進め方ヒアリングたりと、
1:41:17	進めていくかというのをそこに絶対形で落とし込んでいただけるということでしょうか。
1:41:22	はい。日本原燃野本でございますはい。そのように進めて参りたいと思います。はい。
1:41:26	規制庁竹田です。わかりました。
1:41:29	21日には、サカイの前に、ちょっと固まったものとして出す必要がありますので、場合によっては早めに、
1:41:39	方向性を改めて確認すべきものとかっていうのは早めに出してもらって、分けずにヒアリングがあって、認識がない。
1:41:46	そうですねという作戦もありだとは思いますが、そういったことを含めて検討いただければと思います。
1:41:53	はい、榎本でございます承知いたしました。
1:41:56	はい。
1:41:57	あとはですね、8月の2日でお伝えしたような大事なことっていうのはヒアリング用紙でも明記しておりますので、また改めてご確認をいただければと思いますので、
1:42:07	すいません。はい。現状でございます。ありがとうございます。わかりました。
1:42:11	ちょっとホームページには掲載されてなかった。
1:42:15	追ってフォローさせていただきます。
1:42:17	タケダカドイ
1:42:23	はい。一通り終わりましたけれども、全体を通して規制庁側から確認がございませうでしょうか。

1:42:30	5月連休でも、1問だけ。
1:42:34	7ページ目のフィードで、
1:42:38	4%。
1:42:42	23%。
1:42:45	はい。ヒアリングですね。
1:42:46	失礼しました。はい。ヒアリングにするのだと括弧書きが取れたと。はい。
1:42:55	はい。
1:43:03	規制庁コサクです。今の話が触れられたので、せっかくものなんですけど、
1:43:09	震源特定せずのこのヒアリングの資料は一部出てきていて、まだQMSの部分が出てきてない。
1:43:18	ということなんですけど、出てきてるやつにIIIASの影響評価もあって、
1:43:26	影響評価についてはまだいろいろ改善すべき点があるかなと思うんですけど、個別案件でやるというよりは全体としてどうやっていくかっていうことで、8日の日のそのあとの、
1:43:41	15時からの面談の方で話をした方がいいかなと。
1:43:45	内容として問題があるっていうわけでもなかったんで、
1:43:51	面談で今後どうしていくかというところで議論させていただければいいかなと思って、
1:43:56	ますので、そちらで対応いただければ、
1:43:59	です。
1:44:00	一方でQMSの方は、何で遅れてんだって言ったところとかも含め、ちょっとよくわからない。
1:44:06	状況があるので、その点は、この8日のヒアリングでも聞こうかな。
1:44:12	思っていますので担当の方にお伝えいただければ、
1:44:18	はい、エミニシウラでございます。はい。
1:44:20	IIIASの影響評価書の方はおっしゃっていただいた通りCSのインターフェースの改善の中で、影響評価としてどういう視点でやるべきかってところを頭から整理して行って、
1:44:33	どうもやらなきゃいけないと思っていますので、それとのリンクで、今後引き続き整理ができればと思う。
1:44:40	それでこの枠組みでやること自体は理解をしました。はい。
1:44:44	あと震源特定せずの今日になってる品管の話については、

1:44:50	一つは単純に補正に係る最終的なプロセスを書かなきゃいけなかった ので、
1:44:56	使ってイワマ本来は3日ぐらいに出せたものだと思います。
1:45:01	4日になってるのはですねすみません私も手を入れていろいろやりくり、 やりとりしてたのは例の設計のプロセスのところ設計審査委員会とか、 絡み方ですね特に
1:45:16	私どものお膝元で恐縮でございますMOXの設計のプロセスがいまいち だということもあって、そこをちゃんと改善しろということ言って前回 有毒ガスでもあった整理資料ところに、今回問題だと思ったところの改 善をこうしていきますというペーパーも入れて、
1:45:33	品管の整理資料をアップしたいなということもあって、
1:45:37	そこに手を加える時間を若干いただいたということでございます。
1:45:43	実際はアノですね。
1:45:45	設計の計画っていうプロセスは、設計フェーズ的には申請を
1:45:53	申請を作成する上で必要な設計としてやるんですけど、
1:45:57	設計の計画をどこまで書かかっていうところがはっきり言ってバラバラ で、
1:46:03	申請書を作成する上で必要な業務っていうのを全体なめた上で、全体 俯瞰的に計画に書いている事業部と、
1:46:12	それを、もう大分手前の、
1:46:15	その解析を発注する業務を設計の計画だと言って、その部分しか書 いてないっていう事業部と、
1:46:25	ハヤシない、あと
1:46:27	正直濃縮も含めて全体でいうと、Noしかんシステムが完全にいかど うかは別として一番素直に読めるのは、濃縮なんかは、
1:46:38	改造計画書みたいのが事業許可をするは、かなり前の計画から始まっ て、編成するどんどんどんどん書き換えていってそのフェーズフェーズ に合わせて、その計画書が直っていってその都度、委員会をかけたりと か、
1:46:51	してやっているっていうところで、本当の設計のプロセス全体を俯瞰する でフェーズフェーズがわかりやすく展開されてるところですと、濃縮のや り方が一番なんかわかりやすいのかなと思いつつも、
1:47:03	そういうところも含めて、何を計画として定めるか、どこまで書くのか、有 毒ガスの決まりましたなお直らないような、

1:47:11	ばくつとしたことしか計画にかけてなければ、せつかくやることが変わっているのに、審査が行われない、設計の検証が確実に行われないような、抜け抜けな状態になってるっていうところもあってそういうところをちゃんと見て、
1:47:25	必要なプロセスにしましょうというところを改善しなきゃいけないっていうところを、少なくとも専任指導ということで今
1:47:32	選手には書いてお出しをしようと思ってます。そこはそもそもの問題点を履き違えて資料が出てきたんでちょっとまげて止めたというところでした。はい。
1:47:45	はい、迫です。わかりました。
1:47:50	これもですね、他の話と共通で、
1:47:54	そんなの2日までにやれたらうっていうことなんですよ。添2日までにそこまでやっておいて、2日の実績っていうのを、3日までにに入れて、
1:48:06	いうことで私はイメージしていたんで、やはりスタートが悪いっていうことなんじゃないかなと思うんですね。
1:48:17	結局全般、元の仕事がそういう状況になっちゃって、
1:48:22	今言っていたいた
1:48:25	計画、
1:48:26	ちゃんとし都度チェックができるような計画の体系と、
1:48:31	いうことがまさに大事なことだと。
1:48:33	で、
1:48:36	また別件なので、そちらの方で聞きつつ、そちらの方だと事業部間連携なんかを引き続き説明ということなので、その枠の中でも聞けるかなと。
1:48:47	また7日に、
1:48:49	話が、
1:48:56	規制庁のタケダですその他全体を通して規制庁側からございますでしょう。
1:49:02	よろしいでしょう。
1:49:04	それでは、ここで振り返りに入りたいと思いますが、
1:49:09	理解メモは本日は作成されますか。
1:49:12	見えますが、しましょうかね。ポイントはわかっているのはい、そのまま引き続き、やらせていただければと。
1:49:25	はい。二本木西田でございます。本日のやりとり踏まえまして、宿題として押さえなきゃいけないところを、ちゃんと
1:49:34	できればと思います。

1:49:36	まず大枠でございます進め方の今回のスケジュールと、
1:49:40	なっていないところですね、スケジュールとか本文で書いてるキーワードそのものが、実態に合わせていないとか誤解が生じると言うて、何らか対応に合わせてじゃないですけどしっかりと、どういうことを表現したいのか。
1:49:54	いうのを考えた上で、必要な資料を作るのと必要なチェックをするということ精度を上げていくということをやらせていただかなきゃいけないと思ってます。
1:50:04	はい。
1:50:06	それぞれのパートでいきますと、MOXの構造設計等の説明のところをクリックたの、
1:50:14	これも先ほどのスケジュールと実態も含めた文章とか合っていないというのが大枠でございます。あとは、やり方としてどういう進め方をしていくのかというのが適切に合わせてないので、
1:50:26	そこをしっかりと書くということと、2-2の説明ですね、ここをどうしていくのかっていうのはいつやるのかということしっかりと明確にさせていただく。これは後の、
1:50:36	それぞれの枠組みで走っているやつとの関係も含めて整理をさせていただきます。
1:50:41	はい。
1:50:42	あとは(2)番の再処理での話ですけどもこれも、それぞれ項目書いてますが全体、それぞれ関連しているんで、それも考えた上でまず項目出しのところから多分おかしいことになっている。
1:50:54	そこを次回の整理をするということと、
1:50:57	それぞれタスクでの関連も含めてしっかりとする、どういう進め方をしようとしてるのかっていうのがわかるように、文章の整理をさせていただくと、スケジュールもそれがわかるようにするということだと思います。
1:51:10	はい。
1:51:11	別添1のところ、ウエイトしましたがこれはどちらかというと7日だったり出す資料の中でしっかりと整理をしてお出しをするということかと思いますが、
1:51:22	一番はやはり、タスクとしては設計説明分類の設定と説明グループの設定今分けて書いてますけどそこを一体でどう進めていくのかということと、

1:51:33	それぞれのタスクが共通 12 までにやらなきゃいけないことは何なのかということを確認にして整理をさせていただくということだと思います。
1:51:42	はい。
1:51:44	あとは、
1:51:46	あれですね特筆すべきことであったのは、
1:51:50	耐震売店 2Ssの話も含めて、この耐震の説明の仕方の中でやはり機能維持に係る記載が十分ではないというところをどう今後共通上位で示していく。
1:52:03	が、それを考えた上で、先ほど設計節、説明グループですかね、徹底をどうしていくかというところを、リンクをさせて、示していくということが必要だと。
1:52:13	いうこと。
1:52:15	後は、最初の方の説明、MOXも含めて設計説明ぶりでご説明しますけど 7 日に資料出して 8 日の説明なので、これ今後も含めてどうやって進めていくかというのを整理をして、
1:52:27	少なくとも 8 日の時には、今回のポイントが何で、今後どう進めていくかっていうことをお示しをしながら、議論させていただくということ、あとは 9 日の日の、
1:52:38	進め方でもそこはちゃんと示していくということかと思ってます。
1:52:42	はい。
1:52:43	スポーツ関係全体通してそっか。そうかと思います。はい。はい。引き続きまして 2 ポツ関係の一体入力地震の策定関係でございます。大きくはですね本日、提出して 7 日にヒアリングいただくその中ではですね、
1:52:58	要因に対する検討も不検討の全体戦略も含めまして、足らずを議論、7 日にはできるように、準備することということでいただいたかなというふうに思っております。それからこれまでですねいただいておりますコメントですね、ちゃんと確実にです。
1:53:16	そのご趣旨も踏まえてですね対応するということをもれなくするべしということで、苦言いただいたというふうに思っております。またですね資料配付規制庁不足でしていただいただけじゃなくて、
1:53:30	その対応方針を整理をして 7 日に説明することって、はい。
1:53:38	あせ
1:53:40	このですね資料で、言葉遣い、ございません。これですね、ちゃんとコンセンサスがとれるような言葉遣いをとることということで、

1:53:51	それをですね今までの言葉変えるのであればそういうことをちゃんと説明した上で、きちんとお互いの認識が合った形での言葉遣いをするべきということでお話したいなというふうに思っています。大きくはその3点
1:54:04	ております。以上でございます。
1:54:09	規制庁、迫ですけど、念のためですけど、
1:54:11	微動観測記録による検討って言えばいいのか、専門用語ちょっとよくわかりません。
1:54:18	そこもちゃんと扱いは、
1:54:21	はい。はい。ノイズキャンセリングと、これから追加調査する。微動アレイの話とちょっとごちゃごちゃになってるんでそこをちゃんと間違えないように使いたいと思います。
1:54:34	規制庁の竹田です。理解の方ありがとうございます。今の説明で何かコメントございますでしょうか。
1:54:43	議会の9日の資料は、8日の直近の状況も踏まえた上で、9日の朝1度させていただきます。はい。
1:54:58	規制庁、竹田ですけど。
1:55:01	何かなければ、本日のヒアリングはこれで終了とさせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。